

平成 26 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス					
教科目名	測量実習 I	担当教員	角野晴彦		
学年学科	2年 環境都市工学科	通年	必修	2 単位	
学習・教育目標	(D-3 計測・制御系) 100%				
授業の目標と期待される効果： 測量に必要な機器の特性を理解し、取扱方法を習得する。基本的な測量（計測）方法を習得・達成することで、簡単な地形図が作成できる。測量項目は以下の通りとする。 ①距離測量 ②角測量 ③トラバース測量 ④細部測量（平板測量）		成績評価の方法： 前期：課題提出 2 回（200 点）、実技試験 1 回（100 点）、合計を 3 で除する。 後期：課題提出 2 回（200 点）、実技試験 1 回（100 点）、合計を 3 で除する。 学年：前・後期の重みを等しくして合計し、得点率（%）で成績をつける。 達成度評価の基準： 使用している器械、測量している方法についてほぼ正確（8 割以上）に説明できる。測量における外業作業を、所定の時間内でほぼ正確（8 割以上）に行える。 ①有効数字と誤差や補正值の取り扱い方を理解し、測量に使える。 ②各種測量器具の特性を理解し、使用できる。 ③基準点を理解し、実際の測量結果を整理できる。 ④測量成果を地形図等で報告できる。			
授業の進め方とアドバイス：測量学 I の講義内容を実践するため、測量学 I の講義の進行から理解が遅れないようにする。測量成果は、実習を実施した日に整理しておくこと。器械と時間に制限があるために積極的に実習に取り組むこと。また、測量士補の資格取得を目標として、理解を深めるとともに自己啓発に努めること。					
教科書および参考書：測量 1（実教出版）を教科書とする。また、適宜配布する資料（プリント）も参考にする。					
授業の概要と予定：前期 第 1 回：ガイダンス 第 2 回：距離測量 器具の取扱い 第 3 回：距離測量 スチールテープ、エスロンテープによる方法 1 第 4 回：距離測量 スチールテープ、エスロンテープによる方法 2（課題説明） 第 5 回：トランシット測量 器械の取扱い 1 第 6 回：トランシット測量 器械の取扱い 2 第 7 回：トランシット測量 器械の取扱い 3 第 8 回：トランシット測量 器械の取扱い 4 第 9 回：トランシット測量 実技試験（据付） 第 10 回：トランシット測量 単測法 1 第 11 回：トランシット測量 単測法 2 第 12 回：トランシット測量 倍角法 1 第 13 回：トランシット測量 倍角法 1 第 14 回：トランシット測量 方向法 1（課題説明） 第 15 回：トラバース測量 測角 1 第 16 回：フォローアップ（課題返却など）					

授業の概要と予定：後期

- 第17回：トラバース測量 測角2
- 第18回：トラバース測量 測角3
- 第19回：トラバース測量 測角4
- 第20回：トラバース測量 測角5
- 第21回：トラバース測量 測角6
- 第22回：トラバース測量 測角7
- 第23回：トラバース測量 測角8 (課題説明)
- 第24回：トラバース測量 測角9
- 第25回：実技試験 (測角)
- 第26回：平板測量 器械の取扱い
- 第27回：平板測量 細部測量1
- 第28回：平板測量 細部測量2
- 第29回：平板測量 細部測量3
- 第30回：平板測量 細部測量4 (課題説明)
- 第31回：平板測量 細部測量5
- 第32回：フォローアップ (課題返却など)